

平成24年度当初予算成立

未来につなぐ

元気で住みよい

活力・安心予算

予算編成にあたって

平成二十四年度予算は、第二次行政改革大綱と総合振興計画を踏まえて、基本計画に掲げられた重点施策を中心とする事業への効果的な財源配分や効果的な事業の構築を進め、限られた財源の中で最大の行政効果があるよう、地域の均衡ある発展と町民福祉の向上を柱に、予算の編成を行っております。

また、歳出の徹底した見直しによる行政コストの削減と健全財政を堅持しつつ、直面する課題や多様な住民ニーズに的確に取り組みものとしております。

新たに四つを加えた

八つの重点施策の推進

町をとりまく情勢は、年々多様化しており、特に引き続き町民の生活を守るための身近な「防災体制の強化」を最優先に取り組みとともに、既存の子育

て、健康づくり支援のほか、定住促進、環境政策など新たな政策も視野に入れた、まちづくりを進めていかなくはなりません。

このような考えのもと、平成二十四年度当初予算では、県内トップクラスの政策となる「教育環境の充実」「未来の子ども応援（子育て支援）」「健康（元氣）づくり支援」「地域福祉の充実・強化」に加え、「誘客を目標とした観光振興」「地域防災力の強化」「住みたい、住み続けたいまち事業（定住促進）」「地域の独自性のある環境政策」を新たに重点施策事業と位置づけ、予算編成をしたところであります。

いっしょの

魅力向上のために

政策の特徴（ポイント）といったしましては、公共施設の耐震補強事業と同時に、災害時にいち早く正確な災害情報を住民などに伝達するための行政防災無線整備事業を本年度より行います。

また、充実した子育て支援や教育環境に魅力を求める若年層にも、住む場としての魅力を発信するための、若者定住促進支援事業も組み入れております。

さらに、環境にやさしい自然エネルギーへの転換を調査し、小水力発電の導入に向けた、町独自の環境への取り組みも行います。

元氣な町にするため、県内でもトップクラスの既存政策「教育、子育て、福祉、健康」に加え、「観光、防災、定住、環境」の新たな「えいへいじの魅力向上」政策が追加された予算となっております。

町長所信表明

二月二十八日に開会された定例町議会の冒頭に、町政の諸課題及び平成二十四年度当初予算案など重要施策について、松本町長が次のように所信を述べました。



政策を述べる松本町長

今年の冬も昨年と同様、大変な大雪となり、町民の皆さまには何かとご迷惑やご苦労をおかけいたしました。幹線道路や通学路の除雪や安全確保、被害状況の把握やその対応に全力で取り組んでまいりましたが、除雪の経費も大きく膨らみ、国や県に対して財政支援を要請しているところであります。

さて、北陸新幹線の敦賀までの工事着工が認められ、中部縦貫自動車道も完成に向けて着々と整備が進められております。産業や観光の振興、地域の活性化など大きな期待が寄せられており、一日も早い完成を望んでいるところであります。

二巡目となる福井国体が平成三十年に開催されることになっており、永平寺町においては、バスケットボール競技とハンドボール競技、ソフトボール競技についても、開催地に決定しました。

本町で

バドミントン競技の開催

全国高等学校総合体育大会

本年八月には、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が北信越地区で開催されます。新潟県が中心の会場地となりますが、福井県にお

きましても、四つの競技が行われます。永平寺町においては、バドミントン競技が、ふれあいセンターと北陸電力の二つの体育館で開催されます。国体、インターハイともに、永平寺町の魅力を全国に発信できるよい機会であり、スポーツの振興、青少年の健全な育成につながるもので、できる限り支援をしたいと考えております。

昨年は、震災や災害で大変心の痛む、心の重い一年でありましたが、このように明るい話題がありますので、今年こそは、幸せ多い年となるよう期待しているところであります。



会場となる緑の村ふれあいセンター

新たな施策の取り組みを これまで以上に積極的に

それでは、初めに町政推進の基本的な考え方や、現在の重要課題、取り組み等について申し上げます。

永平寺町は合併いたしましたので、七年目を迎えました。これまで、どの地域もよくなり、質の高いサービスを受けていただくことができるよう、また、三つの地域の均衡ある発展と、全ての町民が幸せを実感できるまちづくりに取り組んでまいりました。

中部縦貫自動車道の整備をはじめとする「道路網の整備」、町の基幹産業である「農業の振興」と「商業の活性化」に全力で取り組んできたところであります。

また、特に、地域の宝である子どもたちが健やかに成長することができるよう「教育環境の充実」、若い世代が安心して産み育てることができ「子育て支援」、高齢者や障害者を持つ方々が元気で活躍できるように「地域福祉の充実・強化」、健康で笑顔が溢れる地域を築くために「健康（元氣）づくりの推進」に力を尽く

してきたところであります。

新年度におきましては、このような施策にこれまで以上に積極的に取り組むとともに、新たに、永平寺町の歴史、自然、伝統など優れた観光資源を全国に発信し、観光客を増やすための「誘客を旨とした観光の振興」や、災害に強いまちづくりを構築するために「地域防災力の強化」、また、人口の減少を最小限に抑え、住みたい、住み続けたい町の実現のため「定住の促進」、地球温暖化や資源不足に対応し、新エネルギーの研究や省エネルギー対策のために「独自の環境政策」に取り組むこととしております。



花まつり参加者で賑わう門前通り

主要施策の主な取り組み

それでは、これら主要政策のテーマごとに主な取り組みを申し上げたいと思います。

○「教育環境の充実」

地域の宝であり、町の将来を担う子どもたちが安全な環境で学び、たくましく成長することができるよう、小中学校の耐震化に取り組んできました。これまで、八つの小中学校で十四棟の校舎、体育館の補強工事を実施してきましたが、新年度は四つの小中学校で五棟の校舎等の耐震補強工事と、四校、四棟の耐震診断を実施いたします。町内の学校で耐震補強工事が必要とする校舎等は全部で二十三棟ありましたが、平成二十五年で耐震化が全て完了することになります。

また、海のある小学校との交流を図り、地引網やボート漕ぎなどの体験を通して、豊かな人間性と社会性を育むことを目的として「豊かな体験活動推進事業」に取り組んできましたが、新年度からは、町内全



ボート漕ぎ体験

○「子育て支援の充実」

本町の子育て支援の取り組みは、県内でも注目されており、特に、県内で一番安い保育料、中学三年生までの医療費、また、インフルエンザをはじめとする各種ワクチン接種の無料化、「子育て応援の日」の設定など、他の市町に先駆けて取り組んできました。子育て支援が効果を挙げるには、景気や政治情勢に左右されない、息の長い取り組みが必要であります。少子化が進む中にあって、いかに若年層を減らさずに、町の活力として育てるかを考えながら、これまで以上に子育てしやすい環境の整備に取り組んでまいりたいと考えております。

○「地域福祉の充実・強化」

介護保険制度が創設され、十二年が経過いたしました。介護の必要が高齢者が安心して日常生活を送ることができるよう、様々な介護サービスを提供し、利用していただいておりますが、これに伴い、介護保険料を改定する必要が生じてまいりました。第五期介護保険事業計画におい

ても、このことを明示し、介護保険運営協議会でも議論をしていたいただき、保険料改定の答申をいただいております。

また、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域の保健医療の向上、福祉の増進を包括的に支援する役割を担う組織として、地域包括支援センターを設置して業務を行ってまいりましたが、事務の専門性、地域の状況把握、介護予防支援業務との関わり等を考慮して、新年度から、センターの事務を永平寺町社会福祉協議会へ委託することいたしました。現在、「在宅介護支援センター」の事務を社会福祉協議会に委託しており、「地域包括支援センター」と連携を強化することによって、より、利用者の利便性が図られ、地域福祉の充実・強化に寄与できるものと考えております。

○「健康（元気）づくりの推進」

住民主導による健康づくりを、地域で自ら実践していただくため、平成二十三年度から、地域を指定して、様々な健康づくり事業に取り組んで

いただいておりますが、新年度も引き続き新たな地域を指定して、健康づくりの推進を図りたいと考えております。町全体に健康づくりの意識が広がるものと、大きな期待を寄せているところであります。

また、身体障害、心的障害、精神障害を持つ方々が、地域でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めていくための指針となる、「障害者基本計画・障害福祉計画」を策定いたします。

「健康福祉施設の整備」につきましては、新年度から施設の建設工事に取り掛かることとしており、年度



健康福祉施設完成予想図

末の開業に向けて整備を進めてまいります。今後も、議会の温泉利活用特別委員会、町民で構成されている健康福祉施設利活用会議、庁内の健康福祉施設推進会議等でご意見をいただきながら、多くの皆さんに利用していただける施設となるよう努めてまいります。

○「誘客を目指した観光の振興」

大本山「永平寺」をはじめ、吉峰寺、松岡古墳群、九頭竜川流域など、本町は多くの観光資源に恵まれておりますが、全国的に観光客は減少傾向にあります。

永平寺町の基幹産業とも言つべき「観光」の振興は、今最も大きな課題であります。これまで、永平寺門前の賑わい創出事業や永平寺線跡地の遊歩道整備、永平寺口駅前周辺整備など、観光客の増加を図るため、様々な事業を展開しているところであります。

新年度においては、新しい取り組みとして、観光PR用のDVDの作成、永平寺ふるさとの味物産展や永平寺PRの日の開催、永平寺ビッグフェアの支援、加賀市を含む五市町



遊歩道（跡地）の歩け歩け大会

による「越前加賀宗教文化街道推進事業」など、町の魅力ある観光資源を町内外に広く発信し、誘客につなげていきたいと考えております。

○「地域防災力の強化」

昨年の震災、原子力災害、風水害などを教訓として、安全や防災に関する様々な体制を見直し、住民生活の安全確保に全力で取り組む必要があります。これまで、永平寺町をはじめ多くの自治体におきましては、直接的な津波や原子力災害による被害は、現実的なものと考えておりませんでした。しかし、全国的にこれ

を改め、不測の事態に備える体制の整備が求められることになりました。地域防災計画の見直しをはじめ、避難場所の再確認、公共施設や小中学校の安全性の確保、災害時における備蓄品の配備、地域の実態に応じた訓練の実施、自主防災組織の強化など、防災力をこれまで以上に高めていく必要があります。

そこで、新年度から四年計画で、町内全域の防災行政無線の整備を図りたいと考えております。松岡地区には、防災行政無線が整備されておられませんので、新年度から整備を進め、永平寺、上志比地区では、再送



永平寺地区の行政無線

信拡声子局と屋外拡声子局を整備し、本庁舎から一斉に町内全域に情報発信ができるようにいたします。

また、両地区の既存の施設は、アナログ電波を使っておりまして、逐次、デジタル化を図ってまいりたいと考えております。

○「定住の促進」

平成二十二年の国勢調査によりまして、永平寺町は、県内十七の市町の中で二番目に人口の減少率が少ない町となっています。これは、これまでの本町の子育てや教育の取り組みの成果が現れ、人口の減少を最小限にとどめることができたものと考えております。今後も、様々な施策を展開し、高齢者が生き生きと暮らし、元気で活躍できるよう、そして、若い人が子どもを産み育てることができる環境づくりを進めていきたいと考えております。

そこで、新年度には、新たな定住促進の取り組みとして、「若者定住促進支援制度」を創設することとしております。これは、町外から転入した方や、町内で分家する方など、永平寺町に定住する意思を持つ方々

が、新たに住宅を購入・新築する場合には、住宅取得に必要な経費及び子育てに係る経費の一部を助成するものであります。

○「独自の環境政策」

現在、私たちの周りには様々なエネルギー資源が存在しておりますが、新エネルギーの開発は、重要な課題となっております。太陽光発電、風力発電、地熱発電、小水力発電など、新エネルギーに指定されているものは、様々であります。その潜在的な利用可能量は非常に大きいと見込まれており、地球温暖化への対策の一環として、開発と利用が並行して進められております。本町でも、新エネルギーの一つである、小水力発電について、町内のどの場所が発電が可能なのか、どの程度の効果が期待できるかなど、可能性調査を実施したいと考えております。

また、省エネルギーを進めるため、通学路の防犯灯を三年計画で、LED照明に改善していくこととしております。

平成二十年三月に策定した「環境基本計画」、平成二十二年二月に制

定した「地域新エネルギー・省エネルギービジョン」では、町の目指すべき将来像と環境づくりの行動計画を定めました。

これからも、町民・事業者の皆さまとともに、環境について考え、自覚と責任を持って永平寺町独自の環境政策に取り組み、この町の豊かな環境を次世代に引き継いでいきたいと考えております。



太陽光発電

まちづくりに向けての 主要施策

未来につなぐ

元気で住みよい

活力・安心予算

それでは次に、平成二十四年度当初予算について、新規事業や主要事業を中心に説明申し上げます。

最近の経済情勢につきましては、国は、二月十七日に発表した「月例経済報告」において、「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある。」としており、電力供給の制約や原子力災害の影響、さらには、デフレの影響、雇用情勢の悪化・懸念が残っているなど、慎重な見方を示しております。こうした情勢に的確に対応し、地域の均衡ある発展と住民サービスの向上につながる事業を展開していくため、先に述べた主要政策の取り組みが確実に推進できるよう、予算の編成にあたったところであります。

そして、平成二十四年度予算を「未来につなぐ 元気で住みよい 活力・安心予算」といたしました。

健康で笑顔に 満ちたまちづくり

健康づくり意識の

高揚に向けて

「健康づくりの推進」につきましては、これまで以上に取り組むこととしており、がん検診の無料化、インフルエンザ等の予防接種、肺炎球菌のワクチン接種などの助成も引き続き実施し、妊婦乳児健康診査も拡充して行います。



山王地区健康づくり

平成二十三年度に地域を指定し

て、健康づくりの取り組みを強化してまいりましたが、新年度においても、新たな地域を指定して、様々な健康づくりの事業を自ら実践していただき、健康づくりの意識が広範に高まるよう進めてまいります。

また、新たに「生活習慣病予防教室」を開催し、医師や管理栄養士による糖尿病などの生活習慣病予防の知識の取得、食事指導を行います。

健康福祉施設建設工事着工へ

健康福祉施設の整備については、施設の運営事業者と設計業者も決まり、実施設計や敷地造成工事もほぼ終了し、新年度から建設工事に着工いたします。来年三月の開業に向けて、運営事業者との詳細な協議を継続するとともに、利用しやすい施設の完成を目指して、整備を進めてまいります。

子ども手当の支給については、制度が一部変更されましたが、子ども医療費はこれまで同様、中学三年生まで無料といたします。

子育て家庭の支援

保護者の事情で、家庭で保育が困難となった場合、町が委託した乳児院等で、夜間あるいは短期の入所ができるようにいたします。また、各幼児園の図書を整備することとしたほか、松岡西幼児園の屋上の防水工事をを行うこととしております。

昨年設定した「子育て応援の日」も二年目を迎えますので、幼児園の休園日の開放など、より充実した内容で取り組んでまいります。



仲良く遊ぶ園児たち

●在宅介護世帯の支援 介護慰労金の支給

新しい時代において私たちが目指すべき社会は、障害を持つ人が、社会の対等な構成員として人権を尊重され、社会のあらゆる活動に参加、参画するとともに、社会の一員としてその責任も分担する共生社会であります。このような社会の実現を図るためには、行政だけでなく、地域の全ての人々がそれぞれの役割と責任を自覚して主体的に取り組むことが必要で、住民一人ひとりの理解と協力を促進し、社会全体として推進していくことが重要であります。このような考え方に立って、町が取り組むべき、障害者施策の基本的方向を定めるため、障害者基本計画・障害福祉計画を策定いたします。

また、新年度から在宅で重度の高齢者を介護されている世帯に対して、介護慰労金を支給することとしており、在宅介護世帯の支援を行います。

このほか、上志比支所では、体の不自由な人や女性に配慮したトイレの改修を行います。

健やかに育ち 心豊かな人づくり

●町独自の教育施策の充実

全国学力・学習状況調査については、震災の影響により、国の実施は見送られました。福井県においては、国が準備を進めていた問題や調査票を活用し、全ての小中学校で調査が実施されました。途切れない分析データが学習の改善に活かされることから、結果を十分活用したいと考えております。永平寺町の子どもたちの学力は全国でもトップクラスにあり、引き続き、地域ぐるみで健全でたくましい成長を見守っていく必要があります。

そのため、「世界で一番受けたい授業」を新たに実施し、「豊かな体験活動推進事業」「特別支援教育支援員の配置」「確かな学力育成支援事業」「学校元気創造事業」「海外派遣事業」など、本町独自の教育を充実してまいります。

また、安全で快適な教育環境を整備するため、全ての小中学校に災害

時に必要なポータブルテレビを配備し、松岡小学校では、災害時の救助袋を整備いたします。その他、「計画的な耐震化と改修の促進」、未整備の学校の「太陽光発電施設整備実設計」と「送風ファンの取り付け」「学校図書の実用」「複式学級の解消」などにも積極的に取り組んでまいります。

●夏期巡回ラジオ体操

七月二十一日に

七月二十一日の土曜日に、「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催します。今年で、三回目の公



巡回ラジオ体操の様子

開ラジオ体操会となりますが、NHKや株式会社かんぽ生命保険から、本町の健康づくりに対する様々な取り組みが評価され、県内でも例がない、三回目の開催となるものであります。

●図書館蔵書の充実・ 視聴覚機器の整備

町立図書館では、図書や雑誌、新聞などの他、視聴覚機器を使った情報を活用される利用者が、年々増加してまいりました。現在、上志比館では、DVDの視聴ができませんので、新年度に整備したいと考えております。

また、図書館の蔵書を計画的に整備しておりますが、新年度においても図書購入の充実を図っているところであります。

安心して暮らせる

まちづくり

●防災行政無線の整備と 自主防災組織の支援

昨年の震災や原子力災害を教訓と



平成21年度に配備した災害用テント

して、防災力を一層高めるため、地域防災計画の見直しと、防災行政無線の整備に取り組みます。松岡地区に同報系防災無線を整備し、永平寺・上志比地区では、再送信拡声子局と屋外拡声子局を整備し、本庁舎から全町内に一斉に情報の発信ができるように、概ね、四年計画で整備を進めることとしております。これまで、自主防災組織の強化を図るため、災害用テントやハンドマイク等の整備をしてまいりましたが、新年度は災害用テントに用いる敷マットを全地区に配備いたします。避難所や救助所として、十分活用していただける

ものと考えております

●消防団車両等の更新と 消防・救急体制の支援

平成二十年四月に消防団の再編を行い、計画的に消防団車庫と消防団車両等の更新を図ってまいりました。新年度におきましては、永平寺北地区の第三分団車庫を新築するとともに、昭和六十二年に導入したポンプ車を更新することとしております。

また、化学薬剤や炭疽菌などによるテロ災害やその他の特殊災害に対応するため、新たに科学防護服とガス探知機等を整備いたします。その他、自主防災組織の強化や地域別防災訓練、救命救急講習会などに要する経費も拡充しており、消防・救急体制の強化を図ってまいります。

●施設の耐震対策と LED防犯灯の整備

本庁舎の耐震診断の結果を受けて、耐震補強工事のための実施設計を行うとともに、二つの支所と開発センターの耐震診断を実施いたします。

また、小中学校の通学路を明るく安全にするため、LED照明による防犯灯を三年計画で整備いたします。

●太陽光発電設備の普及・促進

環境対策におきましては、住宅用太陽光発電設備の導入をこれまで以上に普及・促進するとともに、新エネルギーの一つである、小水力発電について、町内で導入できる場所や経済効果等の可能性について調査を実施いたします。

また、町であります「アブラギリ」を活用し、ろうそくなどの製品



町木 アブラギリ

化を目指し、新年度から苗木の確保に努めたいと考えております。また、概ね七年を目途に、不耕作地を借り上げ、苗木を育て、各家庭に配布するほか、公園などにも植栽したいと考えております。

●松岡公園の整備の拡充

松岡公園の整備につきましては、一年目は、整備のための実施設計、松岡清水区からのアプローチ道路の整備、駐車場整備、南春日山古墳付近の法面整備工事等に着手いたしました。二年目の事業年度となる新年度は、引き続きアプローチ道路や駐車場の整備とともに、福寿園跡地の芝生広場の整備や植栽工事を実施することとしております。

快適で利便性の高い まちづくり

●整備進む中部縦貫自動車道 機能補償道路は供用へ

「道路網の整備」の中で、中部縦貫自動車道の建設促進につかまは、関西電力の鉄塔移設が完了し、



浅見トンネル開通式

松岡吉野塚で橋脚の建築が進められており、二十五基のうち十七基が完成しております。地下道の工事も三月中には施工業者が決定され、地元説明会を開催する予定になっております。福井北一Cと松岡一C間については、残りの橋脚七基と橋梁上部工事、盛土工事が発注され、平成二十六年年度供用に向けて整備が進められております。

谷口地係から花谷、光明寺地係にかけては、工事用道路の造成や道路改良工事、橋梁下部工事が予定されており、本格的な工事が始まります。浅見トンネルが昨年十月二十日に

貫通しましたが、今後はトンネル内の舗装工事や浅見トンネルから東側の石上インターまでの道路改良工事に着工することとなっております。平成二十八年度の福井北・大野間の開通に向けて、順調に整備が進められております。

また、一般県道板神谷鳴鹿森田線（機能補償道路）につきましては、全力で交渉に当たってきた結果、全ての地権者のご理解をいただいたところであり、二十四年度末の供用開始が実現できることとなりました。

上志比、永平寺両地区の長年にわたる願いでありましたが、供用によって、国道四一六号の渋滞解消につながり、福井市への通勤、通学時間が大きく短縮されるものと考えております。

●安全の確保へ
道路改良工事の実施・
除雪車二台の購入

町道松岡100号線、町道栗住波大月線はいずれも子どもたちの通学路となっておりませんが、幅員が狭く、開渠水路があるなど、改良する必要がありますので、国の地域活力基盤創造交付金を活用して整備いたします。



除雪車による早朝除雪

す。

また、昨年に引き続き今年も大雪となりました。現在、町では二十八台の除雪車を保有しておりますが、冬季節間における住民の日常生活や子どもたちの通学路の確保、災害の防止等のため、計画的に除雪車を増強していくこととしており、新年度には、二台購入いたします。

●志比塚駅に駐輪場を整備

えちぜん鉄道の志比塚駅に駐輪場を整備し、松岡芝原地係の町営住宅敷地を売り払うため、整地工事を行

います。永平寺線跡地遊歩道整備と永平寺口駅周辺整備事業も引き続き実施いたします。

にぎわいのある
活力豊かなまちづくり

●町内消費の喚起対策や
中小企業の支援の充実を

現在のようない経済状況の中で、町の活力や地域の活性化につなげるため、商工業の振興を図ることが重要であります。

商工会が毎年実施している、年末



永平寺町産業フェア

の消費拡大事業を支援し、町内での消費喚起と商店街の活性化を図ります。

また、日本政策金融公庫のマル経融資制度を利用している町内の事業者に、年〇、五%の利子補給を行うことといたしました。

中小企業融資資金や、利子補給、勤労者生活安定融資資金などの貸付事業も継続して実施し、チャレンジ企業の支援にも積極的に取り組んでまいります。

●「タマネギ」で被災地支援

昨年三月十一日に発生した大震災では、東北地方の太平洋沿岸部に未曾有の被害が生じました。

私は、八月九日と十日の二日間、宮城県南部地方の、仙台市、名取市、亘里町、山元町を訪れ、震災の被災状況や復旧の状況を視察してまいりました。

特に、山元町は、災害発生時に本町の保健師二名が、救護活動のため派遣した町であることや、人口一万余人の町で、曹洞宗の寺院が多いことから、ぜひ現地を視察し、町長から直接災害の状況や復旧の状況を

聞かせていただきたいと思い、訪ねてまいりました。

その後、何回か斉藤町長さんと電話でお話しておりますが、思うように復旧が進まない状況をお聞きし、今も心が痛んでおります。そこで、なんとか山元町の被災者の皆さんのお役に立てないかと思い、本町の特産物である「タマネギ」を届けることといたしました。吉田郡農協に約三トンのタマネギを確保するようお願いしており、六月の出荷を待ち、乾燥した後、七月頃には届けたいと考えております。



町特産物の五領タマネギ

●有害鳥獣対策の充実

イノシシをはじめとする鳥獣による、農林業への被害が年々増加しており、猟友会による駆除、電気柵や檻の設置によって、被害の減少を図ってまいりました。

新年度には、有害鳥獣個体数の減少を図り、捕獲作業及び情報収集に当たるため、町、猟友会、農協、森林組合、その他の関係者で構成する「鳥獣被害対策実施隊」を設置することとしております。

なお、ミスナラ等の落葉広葉樹を植栽し、クマなどが人里に出没しない環境をつくるため、苗木等の補助を行い、電気柵やネット柵の支援も引き続き実施してまいります。

●学校給食に

レンゲ米と地場産野菜を

平成十八年の秋から、小中学校の給食に、町内で生産されたコシヒカリを取り入れ、平成二十一年度からは、レンゲ米を使用しております。私も子どもたちと一緒に給食を食べましたが、先生からは、今も大変好評で、おかわりをする子どもも増え

てきていると伺っております。新年度は、四百四十俵の無農薬・無化学肥料のレンゲ米を確保し、地場産の野菜や穀物とともに、子どもたちに安全でおいしい給食を提供いたします。



れんげ畑

●カントリーエレベーターの

整備を支援

「れんげの里」が整備されたことと冬季における農作業の拡大に伴い、園芸作物栽培の気運が高まってきております。新年度において、生産組合のパイプハウスの整備、吉田郡農協の予冷庫の整備について支援

をいたします。また、「おいしい福井米づくり事業」として、吉田郡農協のカントリーエレベーターの整備に、県とともに支援することとしております。

松岡吉野、光明寺地区における農山漁村活性化プロジェクト事業も、平成二十五年度の事業完了を目指して、引き続き事業を進めてまいります。その他、県単土地改良事業や県単林道工事、その他の町単独事業についても、計画的に進めてまいります。

●大本山「永平寺」や

町の特産品をアピール

先にも申し上げたように、本年八月にインターハイ「二〇二二北信越かがやき総体」が開催されます。これまで、都道府県単位で開催されてきましたが、昨年からはブロック単位で開催されることとなりました。

昨年は東北ブロックで、今年は北信越ブロックの開催となり、新潟県が中心会場となり、福井県では四種目が開催されます。本町では、ふれあいセンターと北陸電力の体育館を会場にバドミントン競技が行われま

す。役員・選手が二千五百名、応援する保護者や観客約一万名が来町される予定であり、これを機に、大本山「永平寺」や町の特産品を強くアピールしたいと考えております。大会期間中は、「永平寺」への送迎バスの運行や、特製弁当、特産品の販売等を行うこととしておりますが、事前に、全国各地のバドミントン協会に、観光パンフレットや散策マップ等を送付し、永平寺町をPRしたいと考えております。大会運営に積極的に協力するとともに、十分なおもてなしで来町者を受け入れることとしております。

●誘客のための魅力発信に

ふるさと物産市・

ご当地ナンバープレート

観光の誘客を一層高めるためのDVDを作成したいと考えております。十五分程度の映像を収録し、首都圏や関西、中京方面での観光PRに活用することとしております。

また、BCリーグの福井ミラクルエレファントの協力を得て、試合が行われる県内の球場で「永平寺PRの日」を行うほか、JR福井駅や北陸自動車道のサービスエリア等で、

「永平寺ふるさと物産市」を開催するなど、観光や特産品などの本町の魅力を効果的に発信してまいります。

このほか、町が交付しております原動機付自動車用のナンバープレートを、町独自のデザインに変更し、地域振興や観光振興につなげたいと考えております。

徹底した行財政改革の 推進と健全な財政運営を

新年度予算における主要事業と新たな取り組み等について申し上げますが、財源の確保と健全財政の維持に努め、改革を進めていくことを基本としたところであります。その結果、四十六の新規事業と、十一の事業を拡充して行うこととしており、平成二十四年度一般会計の当初予算の規模は、八十七億五千二百五十万円となった次第であります。

このほか、国民健康保険事業特別会計をはじめとする、五つの特別会計予算につきましては、それぞれの事業が円滑に執行できるよう、適正な予算を編成したところであります。

す。その結果、特別会計の予算総額は、四十五億二千四百七十七万円となり、上水道事業の企業会計は、五億七千七百七十七万五千円となった次第であります。

全会計の予算総額は百三十七億九千四百万円余となり、前年度と比較して三%増と積極型予算としておりますが、経常収支比率や実質公債費比率など、財政状況の弾力性や健全性を示す指標は、県内市町の中でも上位に位置しております。これからも、事務事業の改善、コスト削減など徹底した行財政改革を進めながら、健全な財政運営に努めてまいります。

地域のつながりを大切に 幸せを感じる「まちづくり」

東日本大震災から一年が経過しようとしております。寒さが厳しい折、被災地の皆さんの状況を思うと心が痛みます。昨年を代表する文字に、苦難を乗り越えよつといふ気持ちが込められた「絆」が選ばれました。国民の間に「絆」の大切さが広がっていることは、日本の希望であると

思います。私たちの町、永平寺町においても、地域のつながりを大切に、連帯感を深め、真の地方自治を目指したいと考えております。

これからも、町民が誇りと将来への希望を持てるよう、永平寺町を新しい時代に向けて発展させてまいります。どの地域も良くなり、町民だれもが幸せを感じる事ができる「まちづくり」に邁進してまいります。と考えております。

一月専決処分について

一月専決補正予算は、国の第二次補正予算において、消防防災通信基盤整備費補助金や学校施設環境改善交付金等が増額されたことに伴い、平成二十四年度に実施することとしていた、消防の全国瞬時警報システム受信設備の整備や、志比小学校をはじめとする四校の耐震補強工事を前倒して実施するものであります。契約を年度内に締結する必要があります。あることから、専決にて処分いたしました。

三月補正予算について

三月補正予算は、人件費において、基礎年金拠出金にかかる公的負担率が引き上げられたことによる共済費の増額と、このたびの大雪に対応するための除雪費の増額、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療費等に対する繰出金の増額のほか、各事業の確定に伴う補正及び年度内に措置が必要な経費等について補正を行うものであります。

また、小中学校の耐震補強工事等の九つの事業につきまして、年度内の完成が見込めないことから、繰越をさせていただくこととしております。

なお、町税や国庫支出金、繰越金等の歳入を調整した結果、本年度も財政調整基金を取り崩すことなく、四千百万円を積み立てることができることとなり、これにより、財政調整基金の総額は、二十億四千三百万円余を確保できることとなりました。

その他、国民健康保険事業をはじめとする特別会計の補正予算につき

ましては、不足が見込まれる医療費の増額や、居宅介護サービス給付費の増額など、本年度内の事業実施に必要な経費の増額を行うものであります。

未来につなぐ 元気で住みよい 活力・安心予算

平成24年度 当初予算一般会計

87億5,250万円(伸び率2.7%)

歳入

主要財源である地方交付税は、厳しい地方財政の財源確保を図るとした国の財政計画等を考慮し昨年度より5.0%(17,300万円)の増を見込み、歳入予算全体に占める割合は41.9%となっています。町税は、税制改正による個人住民税の増及び昨年の値上げに伴うたばこ税の増(1,900万円)を見込んでいますが、本年度は、固定資産税の評価替え年度による家屋分等の減少(3,240万円)より、町税全体では0.2%(337万円)の減となっています。また、全体に占める地方交付税と町税の割合は約3分の2を占めています。

国庫支出金は、対前年度比9.5%(6,822万円)減となっています。社会保障費の自然増に伴う介護給付費国庫負担が増加した一方、国の施策見直しに伴う新児童手当事業や学校施設整備に係る国庫補助事業の減少を見込んだことによるものです。

県支出金は、志比地区の観光振興事業の終了や雇用創出事業の減少より2.3%(1,365万円)の減を見込みました。繰入金31,262万円のうち、町の貯金である財政調整基金より27,000万円、快適な教育環境を確保するための学校施設整備に、ふるさと創生基金から3,200万円の繰入を見込んでいます。

町債(町の借金)は15.3%(11,800万円)の増となっています。地方交付税の不足分を補う臨時財政対策債が8,000万円の減となりましたが、安心・安全のための緊急性が高い事業を着実に推進するため、合併特例債を96.8%(21,200万円)増額しております。

厳しい経済情勢を反映して町税は伸び悩んでいますが、誰もが安心して暮らせるまちづくりや住民福祉向上のための事業を積極的に行うため、繰入金や町債の発行によりその財源を補う歳入予算となっております。

歳出

民生費が歳出予算全体の29.4%(257,206万円)を占めています。子どもから高齢者まで「健康増進」「余暇の活用」「介護の予防」の場として活用していただくための健康福祉施設整備事業に22,675万円、社会保障費の自然増に伴う介護給付費に30,620万円、えいへいじ子育て応援の日の取り組みとして行う幼児園施設の開放事業、集落全体で健康づくりに取り組んでいただく、地域で作るみんなの健康づくり推進事業の拡充などがあげられます。

総務費においては、町民に対し一斉に早く、正確な災害情報の伝達を行うための防災行政無線整備として11,839万円を予算化し、本年度より着手するほか、地区自主防災組織への災害用敷きマット配備や地域防災計画の見直しを行うなど、安心して暮らせるまちづくりを推進します。さらに、充実した子育て支援や教育環境に魅力を求める若年層にも、住む町としての魅力を発信するため、若者定住促進支援事業を行います。

教育費においては、志比南小学校校舎増築工事に2,589万円、各小学校の普通教室に送風ファンを設置する工事に1,207万円の予算化をして、快適な学習環境の整備を図ります。さらに、自然の中での集団宿泊活動を通じて、自立心や人間関係の育成を行うため全ての小学校の5年生を対象に、豊かな体験活動事業を行います。

衛生費においては、環境にやさしい自然エネルギーへの転換を調査し、小水力発電の導入に向けた町独自の環境政策の推進を図ります。

土木費・農林水産業費においては、生活道路網の整備、松岡公園整備事業、農林業を行う担い手の育成と有害鳥獣対策経費の充実を図ります。その他、観光客の誘客に向けた事業、町内商店の消費拡大事業への補助を行うなど「元気で住みよい、えいへいじの魅力向上」に取り組む予算付けとなっております。

特別会計(対前年度伸び率)

●国民健康保険事業	17億6,399万円(2.2%増)
●後期高齢者医療事業	1億8,892万円(0.0%)
●介護保険事業	16億7,371万円(4.5%増)
●下水道事業	6億8,729万円(0.3%増)
●農業集落排水事業	2億2,026万円(4.7%増)
合計	45億3,417万円(1.4%減)

企業会計(対前年度伸び率)

●上水道事業	5億778万円(80.6%増)
--------	-----------------

※上水道事業の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計です。

【特別会計】 特別会計は、総額45億3,417万円、対前年度比1.4%(6,345万円)の減となりました。簡易水道事業を上水道事業へ統合することから事業会計の廃止が主な要因となっています。

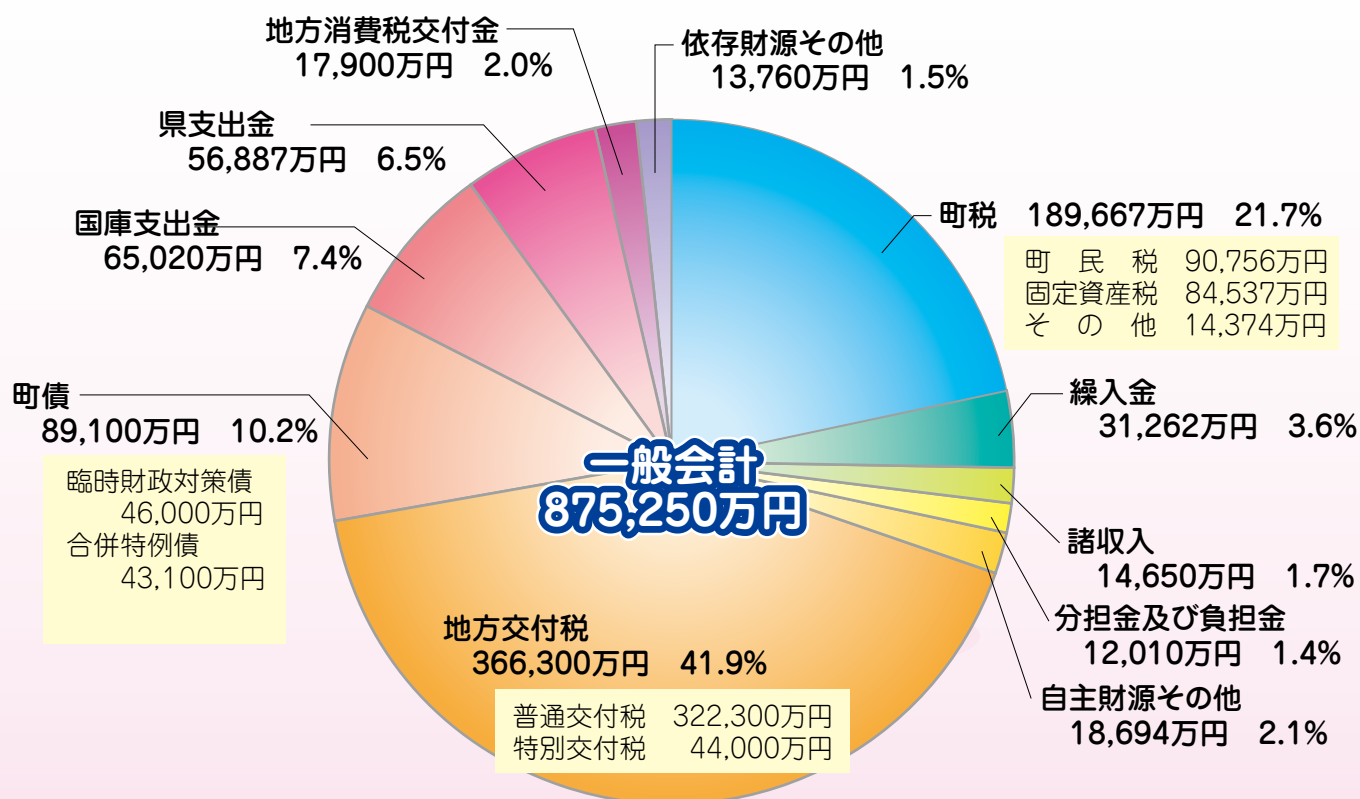
国民健康保険事業及び介護保険事業は、社会保障費の自然増に伴う医療給付費、介護給付費の伸びを見込み、それぞれ対前年度比2%から4%の増となっています。

また、下水道事業においては、資産管理台帳委託料の増により、農業集落排水事業においては、汚水管路移設工事により昨年度より増となっております。

【上水道企業会計】

5億778万円対前年度比80.6%(22,660万円)の増となっております。簡易水道事業を上水道事業へ統合したことや、志比浄水場の膜ろ過設備取替え工事(1,316万円)を行うことによるものです。今後とも水源の確保や老朽化に伴う施設更新を行うなど、快適で住みよいまちづくりをめざし、将来的に安定した飲料水の供給に努めます。

歳入



町の予算

町の予算をより身近に感じていただくために、一般会計予算を家計簿の形にして表してみました。なお金額の単位は「千万円」を「万円」に置き換えています。

永平寺さんちの家計簿

収入

給料	710万円
基本給(町税)	190万円
諸手当	
(普通交付税、国庫支出金など)	520万円
パート収入	
(分担金、使用料など)	21万円
雑収入	15万円
金融機関からの借入(町債)	89万円
貯金の取崩(繰入金)	31万円
前年度の残金(繰越金)	9万円
合計	875万円

支出

食費(人件費)	212万円
医療費(扶助費)	86万円
公共料金、	
生活用品など(物件費)	106万円
保険料、	
交際費など(補助費など)	141万円
ローンの返済(公債費)	98万円
家の改築、修繕など	
(普通建設事業費など)	119万円
子どもへの仕送り、友人への援助	
(繰出金、貸付金)	109万円
貯金(積立金)	4万円
合計	875万円

歳出

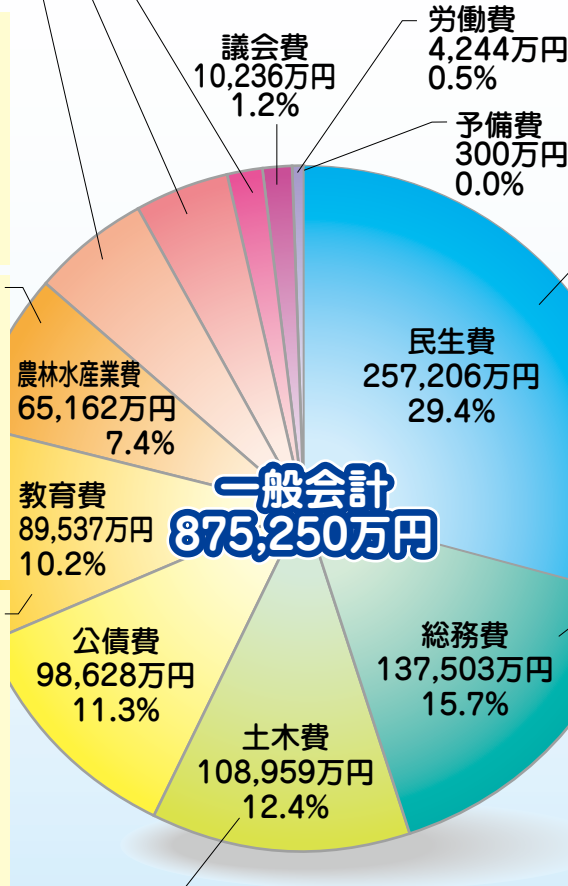
商工費 15,727万円 1.8%
消費費 38,197万円 4.4%
 特殊災害対応資機材(科学防護服・ガス探知機他) 220万円
 永平寺北地区消防施設新築工事 880万円

衛生費 49,551万円 5.7%
 生活習慣病(糖尿病等)予防教室の開催 77万円
 妊婦乳児健康診査委託 1,578万円
 予防接種事業委託 3,888万円
 がん検診委託 1,779万円
 地域でつくるみんなの健康づくり推進事業 120万円
 小水力発電可能性調査 88万円
 アブラギリ活用推進事業 7万円
 住宅用太陽光発電設備導入事業 216万円
 福井坂井地区広域市町村圏事務組合負担金 15,494万円
 勝山・永平寺衛生管理組合負担金 1,184万円

永平寺ふるさとの味物産展 10万円
 親子料理教室 109万円
 広葉樹植栽事業補助 10万円
 有害鳥獣対策ネット柵設置補助事業 800万円
 レンゲ米(有機)学校給食推進事業 454万円
 永平寺商農工ブランド発信協議会補助金 520万円
 農地水環境保全向上対策事業補助金 1,036万円
 園芸産地総合支援事業補助金 3,412万円
 新規就農者経営支援事業補助金 150万円
 公団町行分収造林事業委託 536万円
 水田農業構造改革補助金 4,000万円
 おいしい福井米作り事業補助金 7,481万円

世界で一番受けたい授業開催事業 80万円
 小中学校普通教室送風ファン取付工事 1,207万円
 豊かな体験活動推進事業 520万円
 学校元気創造事業 364万円
 「確かな学力」の育成支援事業 330万円
 全国高校総体開催関連事業 85万円
 松岡小学校救助袋取替え 125万円
 ポータブルテレビ整備 74万円
 町民ラジオ体操推進事業 65万円
 太陽光発電施設整備工事設計委託 168万円
 志比南小学校校舎増築工事 2,589万円
 松岡中学校耐震補強工事実施設計業務委託 396万円

観光客誘客映像作成委託 315万円
 永平寺ふるさとの味物産展 10万円
 えいへいじビッグフェア事業補助 200万円
 大学生・父母との情報発信・交流事業 59万円
 チャレンジ企業支援補助 150万円
 永平寺町商工会運営補助金 1,224万円
 中小企業資金融資資金貸付金 4,500万円



園開放の日事業 30万円
 子ども医療費助成事業 5,940万円
 在宅介護慰労金助成事業 288万円
 障害者基本計画・障害福祉計画策定業務委託 290万円
 配食サービス事業 426万円
 外出支援サービス事業 1,500万円
 在宅介護支援センター事業委託 760万円
 社会福祉協議会活動補助金 4,216万円
 健康福祉施設整備事業 22,675万円
 国民健康保険事業会計繰出金 7,449万円
 後期高齢者広域連合負担金 21,550万円
 後期高齢者医療特別会計保険基金安定繰出金 4,433万円
 介護保険会計介護給付費繰出金 19,879万円

上志比支所トイレ改修工事 375万円
 ご当地ナンバープレート事業 145万円
 永平寺線跡地遊歩道整備事業 7,671万円
 永平寺口駅周辺整備事業 12,052万円
 永平寺町防災行政無線(同報系)整備 11,839万円
 防災対策事業(地域防災計画策定事業) 404万円
 若者定住促進支援事業 348万円
 地域コミュニティバス運営委託 4,231万円
 安心で明るい通学路(LED)普及促進事業 154万円
 福井坂井地区広域市町村圏事務組合負担金 9,133万円
 こしの国広域事務組合負担金 8,496万円
 えちぜん鉄道支援事業補助金 4,010万円

松岡公園整備事業 3,000万円
 除雪車購入 4,590万円
 町道牧福島藤巻線歩道整備工事 1,414万円
 消雪施設補修工事 807万円
 地域をつなぐ河川環境づくり推進事業 160万円
 福井の伝統的民家普及促進事業補助金 600万円
 町内道路維持工事 3,500万円
 地方道路交付金事業 5,200万円
 普通河川維持補修工事 1,000万円
 下水道事業特別会計繰出金 48,288万円
 農業集落排水事業特別会計繰出金 15,940万円
 五領川公共下水道事務組合負担金 12,042万円

家計簿でみる

永平寺さんちの収入は、給料が主なものですが、近年の経済情勢を反映して、基本給(町税)のアップは厳しいものとなっています。一方、会社(国)の方針で地方財政の財源確保のため諸手当(地方交付税)は昨年度より若干多くなっています。また、年間支出875万円を賄うため、貯金の取り崩しや金融機関からの借入も行っています。

支出の主なものは、健康福祉施設整備事業、防災行政無線整備事業、若者定住促進支援事業、予防接種や子ども医療費、地域がつくる健康づくり支援(扶助費、補助費)、えいへいじビッグフェア事業など「健康・元気づくり支援」「地域防災力の強化」「定住の促進」「にぎわいのある活力豊かなまちづくり」の推進のための費用を確保するなど、生活の質が向上するよう工夫しています。

景気低迷が続く中、基本給が伸び悩むことが予想されるほか、今後の会社(国)の方針で、諸手当が減っていくことも考えられるため、給料が増加することは見込めません。そのため、さらに支出を工夫し、経費を節約し、家族にやさしい、より質の高い生活を目指していきたいと考えています。

平成24年度当初予算（一般会計）

における新規事業及び主要事業の概要

新規事業 46事業 拡大事業 11事業

3地区の均衡ある発展とすべての皆さんが等しく様々な行政サービスを受けられる町の実現を目指して、事業を実施して行きます。ここでは、永平寺町総合振興計画の基本目標に沿って、その施策についての事業や取り組みを紹介します。（**新** は新規事業、**拡大** は昨年の事業を更に充実させたものです。）

1.健康で笑顔に満ちたまちづくりをめざして

1) 健康づくりの支援

新 生活習慣病予防（糖尿病等）教室の開催 …… 771千円

生活習慣病（糖尿病等）からくる病気が多くなってきている状況下で、生活習慣病対策を図るため、生活習慣病の教室を開催し、「元気で長生き」を推進します。

新 夏期巡回ラジオ体操開催事業 …… 647千円

町民の健康の保持・増進と、明るく笑顔に満ちたまちづくりを進めるため、7月21日に「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を誘致しました。多くの町民の元気な姿と、健康的で活力あるまちづくりを進める本町を、NHKのラジオ生放送により全国に発信します。

拡大 がん検診委託料 …… 17,794千円

「元気長生き健康づくり推進事業」として、がん検診をH22年度から20歳以上を無料として推進しており、さらに検診が受けやすいように病院等で検診できる個別検診を実施し、がん検診を推進しています。

拡大 健康福祉施設整備事業 …… 226,750千円

優れた泉質の永平寺温泉を利用して、子どもから高齢者までの全ての皆さまに「健康増進」「余暇の活用」「介護の予防」の場として活用していただくため、健康福祉施設を整備します。

予防接種事業委託 …… 38,878千円

地域でつくるみんなの健康づくり推進事業 …… 1,200千円

町民健康ウォーキング事業 …… 392千円

妊婦乳児健康診査委託 …… 15,780千円

健康増進事業 …… 8,460千円

母子保健事業 …… 2,374千円



健康ウォーキング

2) 子育て・少子化対策の推進

新 夜間・短期入所保育事業 …………… 101千円

保護者が仕事やその他の理由、または、疾病その他の身体上若しくは精神上などの理由により、家庭で児童を養育することが困難となった場合に、一時的に町が委託した乳児院等で養育・保護などの支援を行います。

新 幼児園・幼稚園図書整備事業 …………… 400千円

園児たちが絵本などの図書と身近に接する機会を増やすことで、豊かな心や思考力を養い、あらゆるものに対する関心や興味を引き立たせるよう、新たに図書の整備を行います。

新 園開放の日事業 …………… 300千円

「えいへいじ子育て応援の日設定事業」の一環として、年1回ずつ町内の各園を開放します。親子をはじめ地域の方々と交えて物づくりなどを通してふれあい、子育て中の家族とともに過ごす時間を持つことで絆を深める場、また、子育てに関する情報交換の場として、地域の子育てを支援します。

拡大 子どもの医療費助成事業（中学校修了まで）… 5,940千円

子育てしやすい町を目指すとともに、子育て家庭の医療費負担の軽減を図るため、小学4年生～中学3年生までの子ども医療費を無料化にして、健康づくりを支援します。

えいへいじ子育て応援の日設定事業 …………… 959千円

子ども手当支給事業 …………… 332,604千円

放課後児童クラブ事業 …………… 15,182千円

待機児童のない対策として

嘱託保育士・調理員等の賃金…………… 143,069千円

児童館運営事業 …………… 14,689千円

幼児園・幼稚園リフレッシュ事業 …………… 2,893千円

子育て支援センター事業 …………… 8,747千円

母子父子家庭等医療費助成事業 …………… 6,960千円

出産祝い金支給事業 …………… 5,400千円



児童館なかよし運動会



幼保園リフレッシュ工事

3) 高齢者福祉の充実

新 在宅介護慰労金助成事業 …………… 2,880千円

在宅で介護（要介護4・5の重度の方）をされている家族（非課税世帯）に対し、慰労金月5千円を支給し在宅介護世帯を支援します。

新 永平寺町民後見人育成会補助金 …………… 50千円

一人暮らし高齢者世帯等が増えており、高齢者の権利が守られがたい状況も生まれてきている状況で、高齢者の権利擁護の取り組みが急務で、ボランティアで成年後見人活動をしている永平寺町民後見人育成会に助成を行い支援します。

町社会福祉協議会活動補助金 ……………	42,159千円
在宅福祉事業委託 ……………	42,178千円
（外出支援サービス事業委託 ……………	15,000千円）
（すこやか介護用品支給事業委託 ……………	11,556千円）
（在宅介護支援センター事業委託 ……………	7,599千円）
（地域ふれあいサロン事業委託 ……………	2,687千円）
（配食サービス事業委託 ……………	4,265千円）
（寝具洗濯サービス事業委託 ……………	711千円）
（軽度生活援助事業委託 ……………	360千円）
老人福祉施設入所者措置事業 ……………	27,422千円
シルバー人材センター助成事業 ……………	14,893千円
老人福祉センター指定管理委託事業 ……………	16,800千円
老人クラブ運営事業 ……………	3,040千円
敬老会運営事業 ……………	2,503千円



社会福祉協議会ふれ愛フェスタ



敬老会

4) 障害者（児）福祉の充実

新 上志比支所トイレ改修工事 …………… 3,750千円

支所1階のトイレを身体障害者や足の具合の悪い方が利用しやすいように、車椅子等での使用可能なトイレに改修するとともに、バリアフリー化を図ります。

新 障害者基本計画・障害福祉計画策定業務委託 2,901千円

身体障害、知的障害、精神障害の3障害すべての方々、地域でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めていくための指針として、障害者基本計画・福祉計画を策定します。

介護給付費 ……………	306,206千円
重度障害者（児）医療費助成事業 ……………	85,200千円
障害者自立支援特別対策事業 ……………	6,164千円

補装具等支給事業	7,752千円
支え合い元気で通学支援事業	5,135千円
自立支援医療（更生医療）事業	9,600千円
地域活動支援センター事業	2,849千円
障害者日中一時支援事業	4,779千円
心身障害者通所交通費助成事業	180千円
地域自殺対策緊急強化事業	370千円
障害者日常生活用具給付事業	4,272千円
福祉タクシー利用助成事業	1,361千円



障害者レクリエーション

5) 安心の社会保障

介護保険特別会計繰出金	240,524千円
後期高齢者広域連合負担金	215,498千円
国民健康保険事業特別会計繰出金	74,487千円
後期高齢者医療特別会計繰出金	44,330千円

2.健やかに育ち、心豊かな人づくりをめざして

1) 学校教育の充実

新 世界で一番受けたい授業開催事業 800千円

子どもたちに夢と希望を与えるような著名人を講師に迎え、講演や実技等を通して児童・生徒の心身ともに健康な育成を図ります。

新 特別支援学級合同学習会 100千円

町内の小中学校の支援学級に在籍する児童生徒の交流を深めるため、バス借上げなど児童生徒の合同校外学習会の支援を行います。

新 志比南小学校校舎増築工事 25,890千円

志比南小学校の普通教室棟の東側の耐震性の無いトイレを解体し、新たにトイレと2階に特別教育支援員が個別指導などを行う教室を増築し、教育環境の整備を図ります。

拡大 豊かな体験活動推進事業 5,198千円

町内の全ての小学校（7校）の5年生を対象に、児童の豊かな人間性や社会性を育むために、自然の中での集団宿泊活動を通して自然や文化などに親しむとともに、自主・自立心や、規範意識など望ましい人間関係の育成を図ります。

拡大 小・中学校普通教室送風ファン取り付け工事 12,074千円

次代を担う児童・生徒が安全で快適な環境で学習できるように、夏の暑さ等の気象変化に対応するため、普通教室に送風ファンを取り付けて教育環境の整備を図ります。

拡大 特別支援教育支援員配置事業 25,972千円

小学校に在籍する様々な障害をもつ児童に対し、学校生活上の介助や学習の支援をする特別支援教育支援員を配置し、家庭のニーズにきめ細かく対応するとともに、学校教育環境の整備を図ります。

中学生海外派遣事業 4,000千円

芸術ふれあい教室事業 1,141千円

新たな誓い立志のつどい事業 472千円

遠距離通学奨励、就学援助、
特別支援教育就学奨励費..... 6,737千円

小学校複式学級解消事業 5,651千円

学校図書充実 3,181千円

学校元気創造事業 3,640千円

中学校部活動補助 2,765千円

「確かな学力」の育成支援事業 3,300千円

小学校英語教育推進事業 766千円

みんなで作る楽しい学校農園事業 650千円



海外派遣



楽しい学校農園

2) 学校・家庭・地域の連携

浄法寺山青少年旅行村管理事業 5,414千円

吉峰寺キャンプ場管理事業 792千円

地域の子どもを育てたい事業 279千円

3) 生涯学習の推進

新 図書館視聴覚設備設置工事 …………… 1,319千円

開館時に設置された視聴覚機器(VHSビデオ対応)に、現在の主流であるDVD機能を追加・改修することで利用者ニーズに応えられるよう、図書館施設・設備の充実を図ります。(上志比館)

新 史跡案内看板整備事業 …………… 221千円

既存の史跡案内看板が経年劣化により支柱・盤面の損傷や看板の文字の判読不明となったものがあるので、順次整備・修繕します。

図書館図書購入費 …………… 7,270千円

公民館運営諸経費 …………… 6,603千円

4) 生涯スポーツの振興

町体育協会・地区体育祭助成 …………… 6,349千円

スポーツ少年団助成事業 …………… 1,413千円



地区体育祭

5) 地域文化の振興

古墳群整備に伴う嘱託職員賃金 …………… 4,157千円

古墳等草刈伐採業務委託 …………… 851千円

文化芸術振興事業 …………… 1,000千円



手繰ケ城山古墳

3.安心して暮らせるまちづくりをめざして

1) 防災体制の強化

新 防災対策事業(地域防災計画策定事業) …………… 4,043千円

先の東日本大震災(広域複合災害)と、福井県が3月に見直しをする地域防災計画(地震・津波編)を踏まえ、原子力災害も考慮し現行の永平寺町地域防災計画書の拡充及び再編を行います。

新 防災対策支援事業 …………… 1,900千円

東日本大震災(広域複合災害)の野外における一時避難所・応急救護書等の開設時にも見かけられた、資機材(災害用敷きマット)を90の町内自主防災組織に配備し、災害に強いまちづくりを図ります。

新 永平寺町防災行政無線（同報系）整備 …… 118,388千円

永平寺町防災行政無線（同報系）の整備については、現在、松岡地区は未整備であり、災害発生時における避難誘導や減災に向けての広域を対象とした災害予測情報の伝達ができない状況下にあるため、未整備の松岡地区を整備するとともに、既に設置されている永平寺地区、上志比地区の設備も併せて改修します。

新 ポータブルテレビ整備 …… 735千円

災害時における避難後の災害情報取得のため、ポータブル地上デジタルテレビを各学校に配備します。

新 本庁舎耐震補強工事等実施設計業務委託 …… 6,200千円

災害活動の防災拠点に指定されている本庁舎の耐震補強工事及び老朽化した空調設備の更新やエレベーターを設置するためリフレッシュ工事の実施設計を行い、防災に強いまちづくりを図ります。

新 耐震診断業務委託 …… 8,079千円

防災拠点の1つとなっている永平寺支所庁舎、開発センター、上志比支所庁舎について、地震に対する安全性（耐震性）、地震の際、受ける被害の程度を確認するため、耐震診断を行います。

新 松岡小学校救助袋取り替え …… 1,246千円

松岡小学校の南校舎救助袋の中で、特に老朽化している2基の救助袋の取り替えを行い、緊急時の児童の安全の確保に努めます。

河川維持補修工事 …… 10,000千円

自主防災組織資機材購入費補助金 …… 1,500千円

県防災ヘリ運行連絡協議会負担金 …… 1,843千円

自主防災組織活動費補助金 …… 500千円

非常用備蓄品 …… 800千円

町内一円水路改修等工事 …… 800千円

防災訓練事業 …… 584千円



防災ヘリ

2) 消防・救急体制の整備

新 永平寺北地区消防施設新築工事 …… 8,800千円

合併後、消防団の再編を行っており、永平寺地区の老朽化した分団車庫（第3分団）を整理統合し、今回新たに耐震性のある車庫を新築するものです。

新 消防団車両統合整備 …… 18,000千円

第3分団の老朽化したポンプ車（昭和62年製）を更新し、災害時に迅速に対応できる消防力を確保するものです。

新 特殊災害対応資機材整備 …………… 2,200千円

町民生活の安全・安心の確保のため、化学薬剤・炭素菌などのテロ災害及びその他の特殊災害時の劣悪な環境時に、隊員の安全確保と二次災害防止のため、科学防護服・ガス探知機等を配備するものです。

消防団員報酬 …………… 7,120千円

集落消防施設整備補助金 …………… 516千円

住民とともに創る安全のまちづくり事業 …… 2,012千円



町消防団出初め式

3) 交通安全対策の推進

交通安全施設整備（工事及び修繕）…………… 3,000千円

交通指導員報酬・報償 …………… 2,150千円

4) 防犯体制の強化

新 安心で明るい通学路普及促進事業 …………… 1,542千円

夜間暗く危険な通学路を明るくすることにより、子どもたちが安心して通学できるよう、LED防犯灯を整備します。全体計画（66箇所）のうち、平成24年度は22箇所を整備します。

防犯隊報酬・出動報償 …………… 2,518千円

防犯施設整備補助金 …………… 2,200千円

緊急連絡用携帯メール配信システム配信事業 1,121千円

子どもを守るみんなの輪事業 …………… 483千円

5) 自然環境保全啓発活動の推進

不法投棄等監視パトロール事業 …………… 453千円

住宅用太陽光発電設備導入事業 …………… 2,160千円

地域をつなぐ環境づくり推進事業 …………… 1,600千円

「子どもに夢を」九頭竜鯉のぼり事業 …………… 374千円

環境教育・環境学習推進事業 …………… 270千円



電気自動車学習

6) 循環型社会の構築

新 小水力発電可能性調査 880千円

地球温暖化防止の観点から、化石燃料から環境にやさしい自然エネルギーの転換を図るため、本町に潜在する小水力発電の可能性を調査することにより、今後の小水力発電の導入促進を図っていきます。

新 アブラギリ活用推進事業 74千円

町木「アブラギリ」の木を育成するとともに、各家庭に苗木を提供し「アブラギリ」の普及促進に努めます。また、アブラギリの活用方法を調査・研究して環境負荷の低減と環境意識の啓発を図ります。

広域圏清掃センター負担金 154,938千円

一般廃棄物収集運搬業務委託 83,761千円

勝山・永平寺衛生管理組合負担金 11,839千円

古紙回収等奨励補助金 3,200千円

環境美化推進地区補助金 1,860千円

生ごみ処理器補助金 350千円



粗大ゴミ回収

4. 快適で利便性の高いまちづくりをめざして

1) 道路網の整備

新 除雪車購入 45,900千円

除雪路線の増加や短時間に集中して降り積もる道路の積雪を出勤や登校時間までに早朝除雪作業を行うなど、冬期間における住民の生活を守るため、計画的に除雪車を増強し雪に強い除雪体制の確立を図ります。(町所有台数28台→30台)

新 町道牧福島藤巻線歩道整備工事 14,136千円

小・中学校や図書館及び保健センター等の公共施設へ繋がる幹線道路について、既設マウントアップ形式歩道のバリアフリー化や歩道の 신설により、歩行者の安全確保を図ります。

拡大 消雪施設補修工事 8,070千円

既設消雪施設の設備（散水ポンプ）の老朽化による更新や破損した散水ノズルの交換及び散水管の清掃等を行い、冬期間の積雪時における幹線道路の交通を確保します。

町道松岡100号線道路改良工事 15,000千円

町道栗住波大月線道路改良工事 28,000千円

町道整備工事	63,426千円
町道維持補修工事	35,000千円
道路除草委託・道路街路樹管理委託	9,444千円
消雪設備点検清掃委託	8,366千円
除雪最低保証委託	4,570千円



消雪点検作業

2) 公共交通体系の整備と利用促進

新 志比堺駅駐輪場設置工事 788千円

えちぜん鉄道志比堺駅に駐輪場を整備して利用者の利便性を高めることにより、公共交通機関の利用促進を図り、クルマに頼り過ぎない社会づくりを推進します。

新 コミュニティバス停留所看板整備 409千円

コミュニティバスの永平寺地区内停留所の案内板、時刻表版を整備し、利用者へのサービス向上を図ります。

永平寺口駅周辺整備事業	120,516千円
コミュニティバス運行委託	42,312千円
えちぜん鉄道利用促進通学定期券補助事業	6,500千円
えちぜん鉄道支援事業	40,098千円
コミュニティバス運行南地区補助金	6,000千円
生活交通路線維持対策事業補助金	7,397千円



えちぜん鉄道

3) 上水道施設の整備

上水道事業負担金	58,955千円
----------	----------

4) 下水道施設の整備

下水道事業特別会計繰出金	482,879千円
農業集落排水事業特別会計繰出金	159,401千円
五領川公共下水道事務組合負担金	120,421千円

5) 地域情報化推進拠点の形成

こしの国広域事務組合負担金	84,964千円
福井坂井地区広域圏事務組合負担金	91,326千円
庁内ネットワーク事業	6,329千円
町例規集データベース化事業	4,364千円
ICカード標準システム事業	2,264千円
福井県電子システム負担金	300千円
総合行政ネットワーク事業	782千円

6) 宅地・住宅の整備

新 定住促進支援事業 3,478千円

若者の住宅取得に必要な経費や子育てに係る経費の一部を助成し、永平寺町への定住人口の増加及び地域の活性化を図ります。

拡大 福井の伝統的民家普及促進補助金 6,000千円

伝統的民家を保存し、地域づくり及び景観づくりの普及促進するため、伝統的民家の外装または構造体の改修に対して、その費用の一部を補助します。

町営住宅解体工事 1,976千円

木造住宅耐震化等促進事業 3,772千円



解体予定の町営住宅

7) 計画的な土地利用の推進

都市計画事務 4,193千円

5.にぎわいのある活力豊かなまちづくりをめざして

1) 商工業の振興

新 えいへいじビッグフェア事業補助金 2,000千円

消費増加が見込める年末の時期に、町商工会が実施する消費拡大セール（商品がもらえる抽選会）に対して補助を行い、町内での消費喚起と町内商店等の活性化を図ります。

新 マル経融資制度利子補給事業 …………… 150千円

日本政策金融公庫が小規模事業者に対して実施している融資制度を利用されている小規模事業者に対して、年0.5%の利子補給を行い、支援します。(2年間)

商工振興関係資金預託事業 …………… 45,000千円

商工振興関係利子補給事業 …………… 14,980千円

勤労者生活安定融資資金貸付金預託事業 …… 20,000千円

商工会運営補助 …………… 12,240千円

労働者福祉厚生対策資金貸付金 …………… 4,000千円

就業者生活安定資金貸付金預託 …………… 3,500千円

チャレンジ企業支援補助金 …………… 1,500千円

2) 農林業・内水面漁業の充実

新 おいしい福井米づくり事業補助金 …………… 74,807千円

福井米のブランド化に向け、たんぱく質の含有量により区分集荷が必要となり、JA吉田郡が行う既存の麦乾燥施設を改修する新たな乾燥施設の整備に対して支援を行います。

新 水田農業活性化事業補助金 …………… 4,444千円

農家の高齢化が進む中、認定農業者等を育成し安定的な農業経営が継続して行えるように、規模拡大や新たな組織化に必要な機械・施設等の整備に対して支援を行います。

新 親子料理教室 …………… 1,085千円

小学生と保護者を対象に、ふるさと大使の水野邦昭氏と天谷調理製菓専門学校講師による親子料理教室。町の特産品であるたまねぎ、ニンニク、にんじんを使って、安心安全の地元食材のおいしさを伝え、家庭から地産地消の推進と食育の推進を図ります。

新 耕作放棄地対策事業補助金 …………… 84千円

農地保全や優良農地を確保するため、所有者等が行う耕作放棄地の草刈・耕起等活動に対して補助金を支給し、農地保全活動を支援します。

新 東北被災地支援事業 …………… 436千円

東日本大地震により被災した地域に永平寺町特産の玉ねぎを発送し、被災者の支援を行います。

新 広葉樹植栽事業補助金 …………… 100千円

ミズナラ等の落葉広葉樹を植栽することによって、動物が人里に出没しない環境を形成するため、苗木、支柱分に係る費用について1組当たり1,000円を限度に補助します。

新 新規就農総合支援事業青年就農給付金 …………… 1,500千円

離農や高齢化が加速する農業において、後継者や地域の中核を目指す青年の新規就農者を育成支援するため、就農初期の不安定な所得を確保できるよう就農給付金を1年間（最長5年間）に限り給付します。

新 新規就農総合支援事業就農支援資金補助金 …… 2,000千円

離農や高齢化が加速する農業において、後継者や地域の中核をめざす青年の新規就農者を育成支援するため、就農初期の不安定な所得での高価な農業機械・施設の購入は就農への足かせとなるため、機械・施設の購入費の400万円を上限とし、その5割（国庫）を補助します。

拡大 分収造林事業委託料 …………… 5,368千円

荒廃した森林の整備を行い、公益的機能を発揮できる健全な森林の整備に努めます。

有害鳥獣対策ネット柵設置補助事業 …………… 8,000千円

有害鳥獣対策事業 …………… 6,918千円

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 92,919千円

レンゲ米（有機）学校給食推進事業 …………… 4,543千円

水田農業構造改革補助金 …………… 40,000千円

中山間地域直接支払制度助成金 …………… 13,113千円

みどり
水土里情報利活用促進事業業務委託 …………… 3,000千円

美しい森林景観再生事業委託 …………… 563千円

永平寺農商工ブランド発信協議会助成 …………… 5,100千円

県単土地改良事業 …………… 16,280千円

町単土地改良事業 …………… 17,492千円

九頭竜川下流地区地域用水機能増進事業負担金 …… 1,222千円

県単林道事業 …………… 21,000千円

町単林道事業 …………… 12,852千円

森林組合業務運営補助金 …………… 2,850千円

地籍調査業務委託料 …………… 5,220千円

内水面漁業振興補助金 …………… 616千円



レンゲ米の田植え



産業フェアテープカット

3) 観光の振興

新 ご当地ナンバープレート事業 …………… 1,451千円

原動機付自転車用のナンバープレートを町の地域性を活かした独自のデザインに変更し、町内外にPRすることにより、地域振興や観光振興等を図ります。

新 観光客誘客映像作成委託料 …………… 3,150千円

平成26年度末の北陸新幹線金沢駅開業を見据え、年々減少する観光客数を増加に転じるために、永平寺町の歴史・文化・自然・食・物産を魅力ある映像に凝縮し、観光誘客や永平寺町の紹介ツールとして活用するため約15分程度のDVDを作成します。ホームページから全国に発信するほか、観光商談や出向宣伝に活用します。

新 永平寺PRの日事業 …………… 369千円

町外・県外からの観光客を誘客するために、福井ミラクルエレファントのホーム球場で永平寺町のPR活動を行います。BCリーグのゲームでは最大3千人を超える観客動員があり、効果的なPR活動が見込まれます。

新 永平寺ふるさとの味物産展 …………… 101千円

県内外の人が多く集まる場所（南条サービスエリア・JR金沢駅・小松空港等）において「永平寺ふるさと物産市」を開設し、観光客はもちろんのこと多くの方に永平寺ふるさとの観光・特産品等をPRし、広く知っていただき、味わっていただくことにより、全国に「永平寺」を発信します。

拡大 松岡公園整備事業 …………… 30,000千円

福寿園跡地の活用や古墳公園の整備などと併せて「桜の名所」としての復活や多くの町民が「自然と親しむことのできる憩いの空間」として整備するなど、地域特色を活かしたイメージアップを図ります。

永平寺線跡地遊歩道整備事業 …………… 76,714千円

教育旅行誘致推進事業補助金 …………… 600千円

地域資源活用事業 …………… 2,984千円

観光物産協会運営補助金 …………… 2,620千円

観光情報発信事業 …………… 1,467千円

永平寺線跡地利用事業 …………… 1,235千円

大学生・父母との情報発信・交流事業 …………… 594千円

永平寺ふるさと大使事業 …………… 887千円

永平寺・朝倉ライナー運行事業 …………… 500千円



観光イベントでのPRブース

輝く永平寺町魅力体験事業 …………… 407千円

4) 大学を活かしたまちづくりをめざして

地域学習プラン支援事業 …………… 100千円

6.思いやり、ともに生きる地域をめざして

1) 地域交流活動の推進、イベントの充実

拡大 九頭竜フェスティバル実行委員会補助金 …… 7,500千円

夏の風物詩として、全国的に誇れるイベントとして定着してきましたが、永年使用してきた大型とうろが老朽化し見栄えが大変悪くなってきたため、新たに作り替え、イベントの盛り上げ、観光客の増につなげるものです。

若者出会い交流事業 …………… 550千円

2) まちづくりにおける町民参加の推進

わが町夢プラン事業 …………… 1,000千円

希望の^まち^ち永平寺創造委員会 …………… 428千円

3) 男女共同参画社会の推進

男女共同参画事業 …………… 358千円

人権擁護事業 …………… 742千円

輝く女性永平寺会議事業 …………… 55千円



輝く女性永平寺会議

4) 国際性豊かな人づくり

中学生海外派遣事業（再掲）（生涯学習課） … 4,000千円

7.計画の推進に向けて

1) 町民と行政の協働によるまちづくり

広報作成事業 3,329千円

「気軽に散策・えいへいじ巡り」事業 150千円



座禅・精進料理ツアー

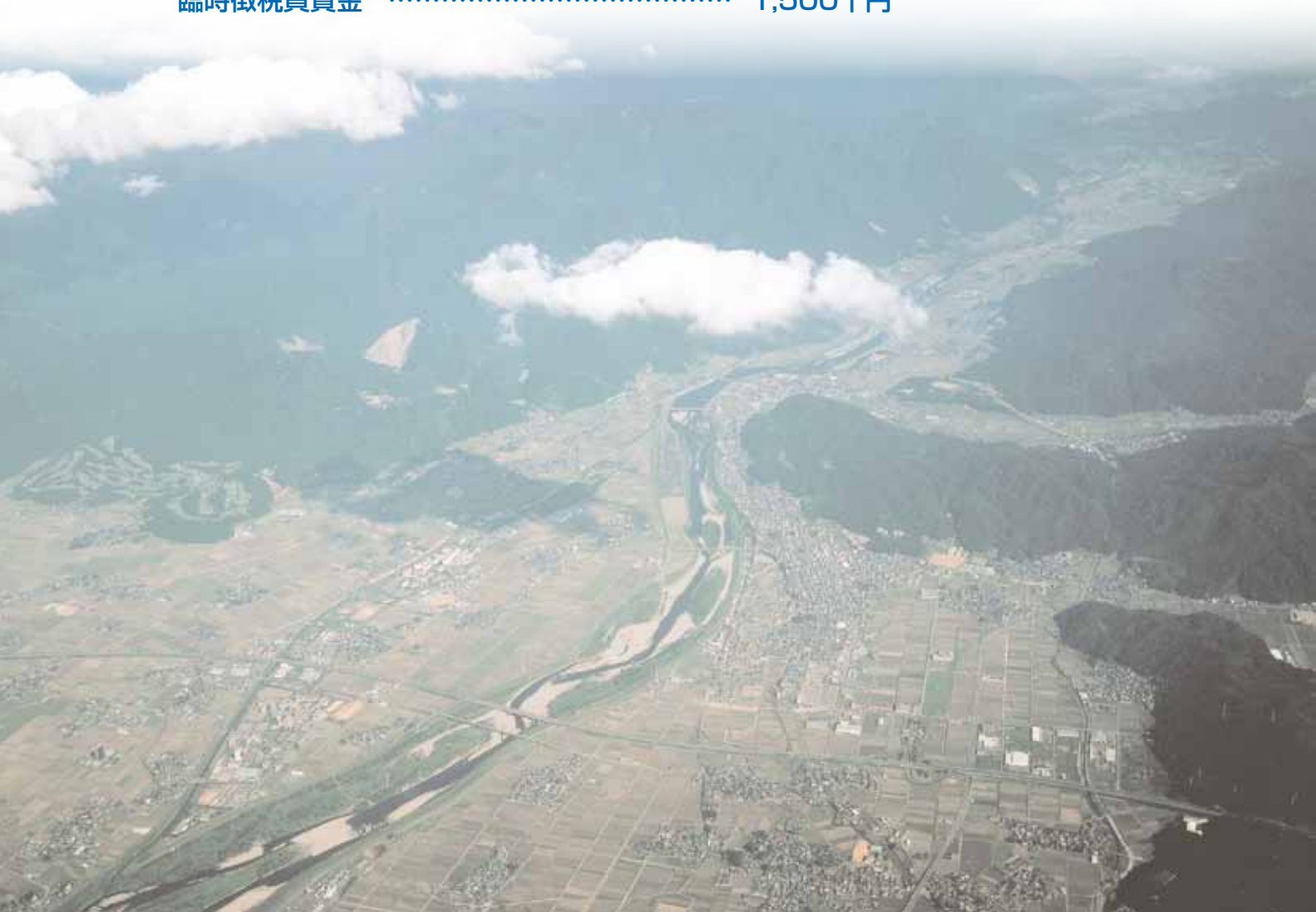
2) 行政運営の充実

職員研修事業 818千円

3) 財政の健全化

納税組合納税奨励金 4,845千円

臨時徴税員賃金 1,500千円



平成23年度1月専決及び3月補正に盛り込んだ主な取り組み

平成23年度1月専決 一般会計 2億3,177万1千円

1月専決予算は、国の補正（3号）に係る全国防災対策費関連項目に沿った「学校施設耐震化・防災機能の強化」に関連する事業が中心となる予算編成を行いました。

■国の補正予算（3号）関連事業

学校施設耐震化において、町内の小中学校4校の耐震補強工事及び耐震補強関連工事等を、防災機能の強化では、全国消防本部を中心とした通信システム構築のため、全国瞬時警報システム受信設備整備事業及び消防団員の安全対策のための備品購入費用を予算化いたしました。

【主な事業】

学校施設耐震補強工事及び耐震補強関連工事	
耐震補強工事等……………	216,428千円
工事監理業務委託料……………	9,321千円
全国瞬時警報システム受信設備整備事業……………	3,328千円
消防団安全対策設備整備事業……………	2,548千円

平成23年度3月補正 一般会計 7,949万3千円

3月補正予算は、地方公務員等共済組合法の一部改正に伴う人件費等の増額をはじめ、介護給付費や障害者自立支援事業費関連の扶助費、除排雪関連の経費、財政健全化に向けた財政調整基金の積立て等の増額補正の予算化をしております。

その他、事業の実績見込みによる減額や一部事務組合への負担金の減額が主なものとなっております。

【主な事業】

■社会福祉・老人福祉関連

障害者自立支援事業・老人福祉施設入所措置扶助費等…………… 34,723千円

社会福祉・老人福祉費について、介護給付費や老人福祉施設入所措置の扶助費が当初見込みより増加したことによる増額補正です。

■除排雪関連事業

除雪委託料、修繕料等…………… 40,186千円

除雪委託料、修繕料、燃料費等の除排雪経費の増額補正です。

■財政の健全化

財政調整基金積立金…………… 41,000千円

財政健全化に向け9月補正においても積立てをしましたが、自主財源の確保や次年度以降の基金運用の適正化を図るため、更なる積立てを行います。